

## 第68回国民体育大会スポーツ祭東京2013ハンドボール競技

競技日	10月 4日(金)	試合番号	C-9	2回戦
種別	成年男子	会場	品川区立総合体育館	

## 試合結果・戦評報告

Aチーム名			Bチーム名		
神奈川県			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
29	16	前半	18	37	
	13	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7MTC			

## 戦評

神奈川県のスローオフ。対する大阪府は11番吉田を中心としたアグレッシブに出るディフェンス。相手のミス誘い、大阪府7番山口の速攻で先制。神奈川は2番光武を中心に巧みなパスワークで切り崩しを図る。開始7分で速攻が冴える大阪府が5対1とリード。大阪府はディフェンスラインを上げたまま相手のミスを誘い、8番小幡が力強いプレーで得点を重ねる。神奈川県は息の合ったポストパスから4番渡辺がシュートを決めるなど対抗するも、大阪府リードで12対6となった16分にタイムアウトを要求。その後、神奈川県が息を吹き返し、速攻や11番小山の打点の高いロングシュートで3連取。20分で9対12と3点差に詰め寄る。その後お互い速攻の応酬など一進一退の展開となるが、神奈川県12番GK金林の連続ファインセーブもあり、2点差のまま前半終了。神奈川県は29分過ぎに退場者を出し一人少ないまま後半を迎える。

後半開始早々、大阪府が9番宮本、11番吉田の2連取で4点差をつける。しかし神奈川県も2連続得点、大阪府に退場者がでたチャンスを生かし開始5分で追いつき20対20となる。後半8分過ぎとうとう神奈川県が11番小山の7mシュートで勝ち越す。その後は7mスローが何度も起きる激しいぶつかり合いとなるが、15分で25対25。ここから、大阪府GK1番新名のファインセーブからの速攻などで大阪がラスト10分3点差をつける。目まぐるしく攻防が変わる展開となるが、最後まで足を止めず走り続けた大阪府がラスト3分から速攻を立て続けに決め8点差をつけ勝利した。

送信日時	10月 4日(金) 13:30	送信者名	品川会場
------	-----------------	------	------